

「自己を見つめる」

を重点とした道徳科の授業づくり

第2学年 道徳科学習指導案

1 主題名「郷土のために生きる」

(内容項目：C-7 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)

2 教材名「野球を愛し、野球に愛された北の球聖 久慈次郎」

(出典「北海道版道徳教材 きた ものがたり」北海道教育委員会)

3 主題設定の理由

地元や地域に尽くした先人たちのおかげで、現在の生活を送ることができていると認識することは非常に重要である。過去の人々の努力に敬意を払い、感謝の気持ちを抱くことで、自分たちが次の世代へと地域を発展させていく責任を自覚し、積極的に行動することが求められる。

本学級では、各教科等において意見交換やグループ活動を通じて議論を深める姿勢が見られる。しかし、道徳の授業では、教材を自分事として捉えることが難しく、複雑な題材に直面すると内容の理解にとどまり、学習の目標に達しないことがしばしばある。学区がへき地にあるため、生徒たちは地元や郷土への愛着は比較的強いものの、地域のために何ができるのかを考える機会が少ないという現状がある。このため、道徳や総合的な学習の時間を活用し、地元貢献について深く考えることが課題となっている。

今回使用する教材では、野球選手としての名声以上に、苦境にある郷土の人々のために尽力した久慈次郎の功績を取り上げている。彼の活動を通じて、郷土愛や地域貢献の意識を高めることが狙いである。久慈次郎は全日本チームの主将として活躍し、冷静な判断力と強い統率力でチームの要となった。一方で、函館大火後の復興のために函館に残り、野球選手だけでなく市議会議員としても奮闘した。指導においては、久慈次郎の行動や決断を多面的に捉え、生徒たちが地域や郷土のためにできることを深く考える契機とすることが重要である。

このように、教材を通じて地域のために尽くす意識を養い、自らが主体的に行動できるようになることが、これからの地域社会を支える重要な一歩となる。

4 本時のねらい

個人としての名声よりも、苦境に立たされた郷土の人々のために力を尽くした先人の生き方について学び、郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする心情を育む。

5 本授業のポイント

- ①教材に迫るために「身近な問い」投げかける。
- ②身近な教材(道南に関係すること/人)(野球)を通して、内容への早期理解への受け込みを図る。
- ③教材と自分事をつなげる「隙間の問い」を投げかける。
- ④ICTを活用した意見交流を行い、周囲の意見を参考にしながら自身の考えを深めさせる。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導入	<p>1 これまでの自分の行動について振り返る。</p> <p>○ もし、地元が困っている状況だったら、どんな行動をしますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もちろん、地元のために助けたい。 ・寄付など、自分にできることをやっていきたい。 <p>2 動画を視聴する</p> <p>オーシャンスタジアム／そこで活躍した人物「久慈次郎」に焦点を当てる。</p>	<p>・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</p> <p>【動画】</p> <p>・オーシャンスタジアムで試合をしている選手たち</p>
展開	<p>3 きたものがたりを範読する</p> <p>○ 野球選手としての久慈次郎はどのような選手でしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術面などで、優秀な選手だった。 ・日本代表の主将を務めるほどすごい選手。 <p>○ プロ野球へ進むことと郷土に残ることの間に葛藤していた久慈次郎には、どのような思いがあったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロ野球に入ることをずっと夢に抱いていたが…。 ・これまでお世話になった郷土への恩返しをしたい。 <p>○ もし自分なら、どちらを選択するだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土を優先する。 ・夢はあきらめきれない。 ・郷土に残らなくても、プレーすることが元気づけるのでは <p>◎ なぜ、久慈次郎はプロ野球選手への誘いを断り、出身地でもない函館に残ることを決断したのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで支えてくれた函館復興の役に立ちたい ・自分の夢もあったが、目の前にある復興が優先だ。 ・野球をさせていただいた恩返し。 <p>※なぜタイトルが「復興に尽力した久慈次郎」ではなく「野球を愛し、野球に愛された久慈次郎」なのかを考えさせたい。</p>	<p>・内容の理解で終始することを防ぐため、Google スライドを使って概要を伝える。</p> <p>【動画・画像】</p> <p>・函館大火については、画像などで適宜補足する。</p> <p>☆議論を通して、苦境に立たされた郷土の人々のために力を尽くした先人の生き方について考えを深めることができたか。</p>
終末	<p>4 自分事として、考えをまとめる</p> <p>○ 久慈次郎のすごさとはどのようなところだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土を愛する心 ・郷土に残り、復興するだけでなく、野球も続けたこと ・議員となって、復興を支えたところ <p>※郷土の復興に尽力した久慈次郎が、『球聖』として遺志が引き継がれていることに触れる。</p> <p>5 振り返りの記入と、教師の説話を聞く</p>	<p>・振り返りは、padlet 活用し、全体で交流する。</p>

参考動画

オーシャンスタジアム <https://www.youtube.com/watch?v=RMolEraHNrw>

函館大火 <https://www.youtube.com/watch?v=A2Ho3GRYVcg>